

「アートセンター集」について

その根底にあるのは、一人ひとりが主体的に生きていること、豊かに生きていること。楽しく暮らしていること。人間らしく、生き生きしていること。そのことを大切にしていること。

工房集は「そこを利用する仲間だけの施設としてではなく、新しい社会・歴史的価値観を創るためにいろんな人が集まっていこう、そんな外に開かれた場所にしていこう」という想いを込めて「集(しゅう)」と名付けました。

障害の重い人の表現の可能性を模索し続け、その中から生まれた作品を通じて、多くの人とつながり、関わり、新たな可能性が生まれてきています。

そして2016年より、障害のある人、その支援者の課題の解決、また情報交換やネットワークづくりの場として「アートセンター集」をオープンしました。

「表現すること」は人間が生きていることそのもの。表現活動を通じて、障害の有無に関係なく、人と人とを豊かにつないでいきます。

「創る」「深める」 「広げる」「守る」を サポートします！



相談窓口

アートセンター集は障害のある人やその家族、支援者に対しての相談窓口です。
「創る」「深める」「広げる」「守る」をサポートします。

創
深
広
守

わ
か
ら
な
い
教
え
て
ほ
し
い
見
て
み
た
い
聞
い
て
ほ
し
い
知
っ
て
ほ
し
い

下記までお気軽にお問合せください。
TEL:048-290-7355(平日10:00-17:00)
E-mail:kobo-syu@marble.ocn.ne.jp

”表現”を発掘し、 発表の場や学ぶ場を 企画します！

「埼玉県障害者アート企画展」などの展覧会と
「支援者育成のための研修会」

埼玉県内には作品を創っている障害のある人がたくさんいます。またそれを深めたい、広げたい、守りたいと考えている関係者もたくさんいます。障害のある人やその家族、支援者と専門性のある方々と協働で展覧会やダンス公演、研修会を企画しています。

新たな“表現”の発掘

埼玉県の「障害がある方の表現活動状況調査」をもとに毎年、新たな表現を発掘。また、福祉の現場職員と美術の専門家などの多様な視点から表現の魅力を掘り起こし、展覧会などを通して発信しています。

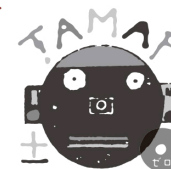
埼玉県障害者アート企画展の開催

2009年から「埼玉県障害者アートフェスティバル」の一環として毎年、埼玉県立近代美術館にて開催。2016年からは官民の連携となり、2017年からは身体表現(ダンス)の公演も企画しています。

連動する「展覧会」「研修会」の企画・運営

「埼玉県障害者アート企画展」と連動する作品展やグッズ展を年数回、県内にて開催。埼玉県障害者アートネットワークTAMAP士〇が中心となり、研修や実践で支援力アップを図りながら企画・運営。作家主体のイベント(アーティストトーク、ライブパフォーマンス、ワークショップなど)も行なっています。また、展覧会にあわせ支援者に向けた研修(アトリエ見学ツアー、インターンシップ研修、障害者アートマネジメントセミナーなど)も行なっています。

「ネットワーク」を 広げます！



埼玉県障害者アートネットワーク
TAMAP士〇(タマッププラマイゼロ)

埼玉県内の福祉施設・事業所でネットワークをつくり、支援の輪を広げています。
「埼玉県は特にこれといって特色がないんです」と言ってしまうほど謙虚で控えめで県内の自慢が下手な県。でも良いところはたくさんある。そういったイメージを一言で表すと…

士〇(プラマイゼロ)

謙虚で控えめな中にも、様々なものをよとできる懐の深さ(ごちゃまぜ上等!)を持ち合わせている私たち。そんな埼玉県を盛り上げて行こう↑という想いから「TAMAP士〇」は生まれました。

- 月1回の定例会(事務局「アートセンター集」)。
- 作品展の企画・運営。
- 情報交換、悩み相談。
- 活動、作家を知ってもらいたい。
- まだまだこれからの人を発掘していこう。
- 埼玉県を盛り上げて行こう。
- 思いをつなげて、埼玉県内にそして全国に発信していこう！

一緒に埼玉県を
盛り上げていきませんか？
障害のある人の芸術活動に興味のある方、
一緒に考えてくれる方、
大歓迎です！